

Q 健康で症状ありませんが、受診する必要はありますか？

A がんは初期の段階では自覚症状がありません。健康だからこそ、定期的な受診をして早期発見・早期治療につなげましょう。

Q 早期発見による治癒率はどのくらいですか？

A ステージIの段階での発見による5年相対生存率を見ると、多くのがんが100%に近い値となっています。

5年相対生存率		肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
I期 (早期がん)						
IV期 (進行がん)						

※相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典：全国がんセンター協議会の生存率協同調査（2011～2013年）

Q 検診結果が「要精密検査」となりました。どうすればいいですか？

A 必ず精密検査を受けてください。精密検査が必要とされた人のうち、実際のがんが発見される人は1～5%に留まります。万が一がんが見つかったら、早期であるほどに治療にかかる費用や身体への負担も少なくて済みます。精密検査が受けられる医療機関については、検診を受けた医療機関におたずねください。

※例えば、大腸がん検診では便潜血検査を行います。検診で一度でも陽性になった場合は、便潜血検査を再度受けるのではなく、精密検査（大腸内視鏡検査等）を受けることが大切です。
（※出典：（公財）がん研究振興財団「がん検診2023」）

Q もっと川崎市のがん検診の情報について知りたいです。

A ホームページをご覧ください。コールセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ



がん検診・骨粗しょう症検診・歯周疾患検診に関しては

「川崎市がん検診・特定健診等コールセンター」

TEL 044-982-0491

〈平日〉8:30～17:15 〈第2・第4土曜日〉8:30～12:30

※祝日、年末年始は除きます。通常の通話料がかかります。

健康増進担当 Fax 044-200-3986 詳しくは



その他の検診

B・C型肝炎ウイルス検査

内容	対象者	お問い合わせ
問診 血液検査	平成20年度以降に川崎市が実施する肝炎ウイルス検査を受けていない市民 ★協力医療機関に直接お申込みください。（無料）	感染症対策担当 Tel 044-200-2441 Fax 044-200-3928



肝炎

※〈平日〉8:30～17:15

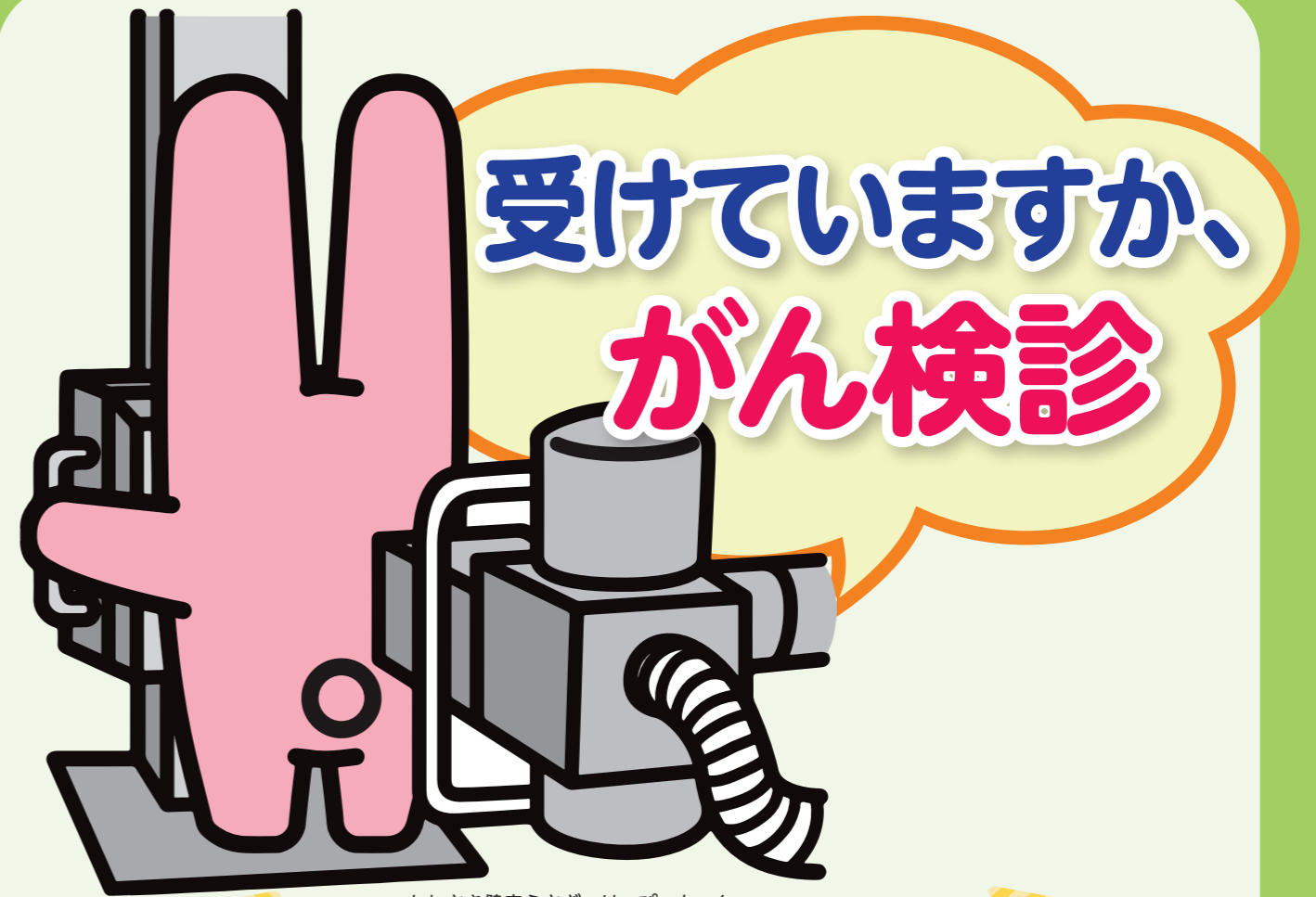
歯周疾患検診

内容	対象者	お問い合わせ
問診 口腔内診査	40・50・60・70歳の市民 （年度内に対象年齢になる方） ★対象の方には、7月頃個別に受診券を発送します。	川崎市がん検診・ 特定健診等コールセンター Tel 044-982-0491



歯周疾患

川崎市 がん検診等のご案内



かわさき健幸うさぎ はっぴーちゃん

がん患者の約4人に1人は、20歳から64歳までの間にがん罹患しています。ですが、がんは早期に発見し適切な治療を受ければ治癒率の高い病気でもあります。

出典：性・年齢(5歳階級)・死因順位別 平成31(令和元年)全国がん登録罹患数・率報告

川崎市の検診では実際にかかる費用（大腸がんの場合で5,000円前後）よりも安く受けることができます。



川崎市では会社などでがん検診等の受診機会の無い方を対象に各種検診・検査を行っています。

● 検診等の詳しい内容

検診名	内容 ※すべてに「問診」を含みます	対象者※1	受診回数	費用
肺がん検診	胸部エックス線検査	40歳以上	1年度に1回	900円 (かく痰検査※2は+200円)
大腸がん検診	免疫便潜血検査	40歳以上	1年度に1回	700円
胃がん検診 (エックス線検査)	胃部エックス線検査	40歳以上	1年度に1回※3	2,500円
胃がん検診 (内視鏡検査)	胃内視鏡検査	50歳以上	2年度に1回※3	3,000円
子宮がん検診	視診、頸部の細胞診、内診 コルポスコープ検査※2 体部の細胞診※2	20歳以上の女性	2年度に1回※4	1,000円 (体部細胞診検査※2は+800円)
乳がん検診	マンモグラフィ検査	40歳以上の女性		1,000円
骨粗しょう症 検診	骨量測定 (医療機関によって測定方法が 異なります)	40・45・50・ 55・60・65・ 70歳の女性	対象年齢時に 1回	DXA法による腰椎測定:1,100円 MD法・SXA法・pQCT法) 700円 DXA法のうち腰椎以外の測定 超音波法:600円

「年度」とは、4月から翌年3月までの期間を指します。

- ※1 対象は年度内に対象年齢になる人を含みます。ただし、骨粗しょう症検診は満年齢期に受診が可能です。
- ※2 各検査は医師が必要と認めた場合のみ受診できます。
- ※3 胃がん検診エックス線検査と内視鏡検査は選択制です。
胃内視鏡検査を受診した翌年度は、胃内視鏡検査も胃部エックス線検査も受診できません。
- ※4 前年度に受診していない方が対象です。

注意事項

- ・検診の費用とは別に、追加で費用が発生する場合があります。(同一日に保険診療による診察を受診した場合や、精密検査や再検査の場合など。)詳しくは医療機関にご確認ください。
- ・現在それぞれの部位で治療中・経過観察中の方は検診受診の対象外となる場合がありますので、かかりつけの医師等へご相談ください。
- ・がん検診で「異常なし」と判断されても、気になる症状がある場合は早めに医療機関を受診してください。

次の方は無料で受診ができます! 受診の際は、医療機関窓口にて各種証明書のご提示をお願いしております。

対象者	証明書
①70歳以上の方 (年度中に70歳になられる方も含みます)	健康保険証等の年齢の分かるもの
②市・県民税非課税世帯(世帯全員が非課税)の方	非課税証明書(令和6年度受診の場合、同一世帯で平成20年4月1日以前生まれの方全員分)(※1) または、最新の介護保険料納入通知書(保険料段階が1~4のもののみ)(※2)
③生活保護受給者の方	「被保護証明書」または「生活保護決定通知書」
④中国残留邦人等支援給付受給世帯の方	「本人確認証」及び「支援給付受給証明書」(受給期間が含まれるもの)

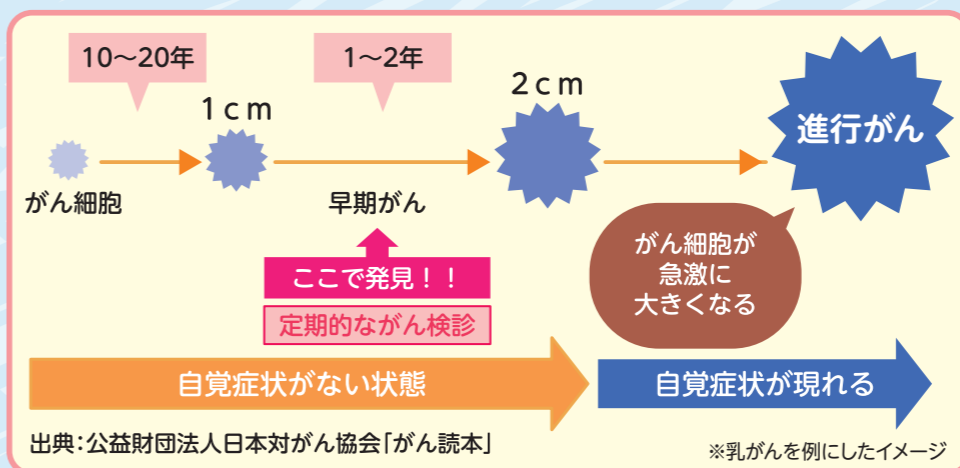
- ※1 非課税証明書は市税事務所市民課・市税分室管理担当または、区役所・支所市税証明発行コーナーで発行しています。(有料)
- ※2 「介護保険料納入通知書」については、65歳以上の方に限ります。また、再発行ができません。紛失等の場合は、非課税証明書を提示してください。

● 受診までの流れ



適切な間隔で定期的な検診受診が大切です

検診の精度は100%ではなく、がんでないのに「要精密検査」と判断される場合や、1回の受診で「がん」と診断できない場合があります。ただし、定期的な検診受診によりがんを発見できる確率は高まります。そのため、がん検診は単発の受診ではなく、適切な間隔で受け続けることが大切です。



早期発見のカギは
がん検診の
定期的受診!



子宮頸がんの原因の多くはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染です。川崎市では、がん検診受診の対象年齢となる前の小学校6年生相当から高校1年生相当の女子に対し、HPVワクチンの定期予防接種も実施しています。(詳細は市HP)

